

【情報提供】

北海道胆振東部地震により発生した
倒木等の有効利用について

北海道水産林務部林務局林業木材課

主幹 岡田 朋子

◇「北海道胆振東部地震」被害状況

- ◎ 平成30年 9月 6日 北海道胆振東部地震発生
午前3時7分、胆振地方中東部、深さ37キロメートルを震源とする
マグニチュード6.7、最大震度7を記録する大規模な地震が発生。
- ◎ 平成30年10月 1日 「激甚災害」に指定

【公共土木施設等の主な被害】

◆ 河川・道路等の被害	581件	1,236億円
-------------	------	---------

【農業関係の主な被害】

◆ 農地・農業用施設等被害	301件	95億円
---------------	------	------

【林業関係の主な被害】

◆ 林地崩壊・治山施設被害	187件 (4,302ha)	462億円
◆ 林道の損壊	323件	44億円
◆ 特用林産物の廃棄等	34件	2億円
◆ その他林業関係被害	20件	1億円

※ 被害件数・金額 H30.12.28現在

◇森林・林業被害の復旧対策について

連携体制

《現地の体制強化》

◎山地災害復旧チーム(9/18設置)

- ・森林管理局や各振興局の職員による治山の専門チーム

《関係部局の連携》

◎胆振東部地震災害復旧庁内連絡調整会議(9/28開催)

- ・災害の早期復旧に向けて協力・連携

《関係部連携による対応》



◎被害木の搬出・有効利用に係る検討会議(9/21開催)

- ・被害木の円滑な搬出や有効利用に向けて調整

《幅広い関係機関との連携》

◎胆振東部森林再生・林業復興連絡会議(10/5設置)

- ・森林被害の早期復旧と地域林業の復興に向けて検討

復旧対策

被災地の迅速な復旧

- 被害状況の迅速な把握と応急対策の実施
- 被災した林地・治山施設や林道の早期復旧
- 被災市町村への職員派遣

林業・木材産業の生産活動の継続

○被害木の搬出・有効利用

- ・関係者の連携により、被害木の製材・製紙・ボード原料や木質バイオマスエネルギーへの有効活用を促進

○被災した木材加工工場等への支援

- ・損傷した木材加工施設や高性能林業機械等の復旧を支援
- ・融資制度の活用により、経営等を支援

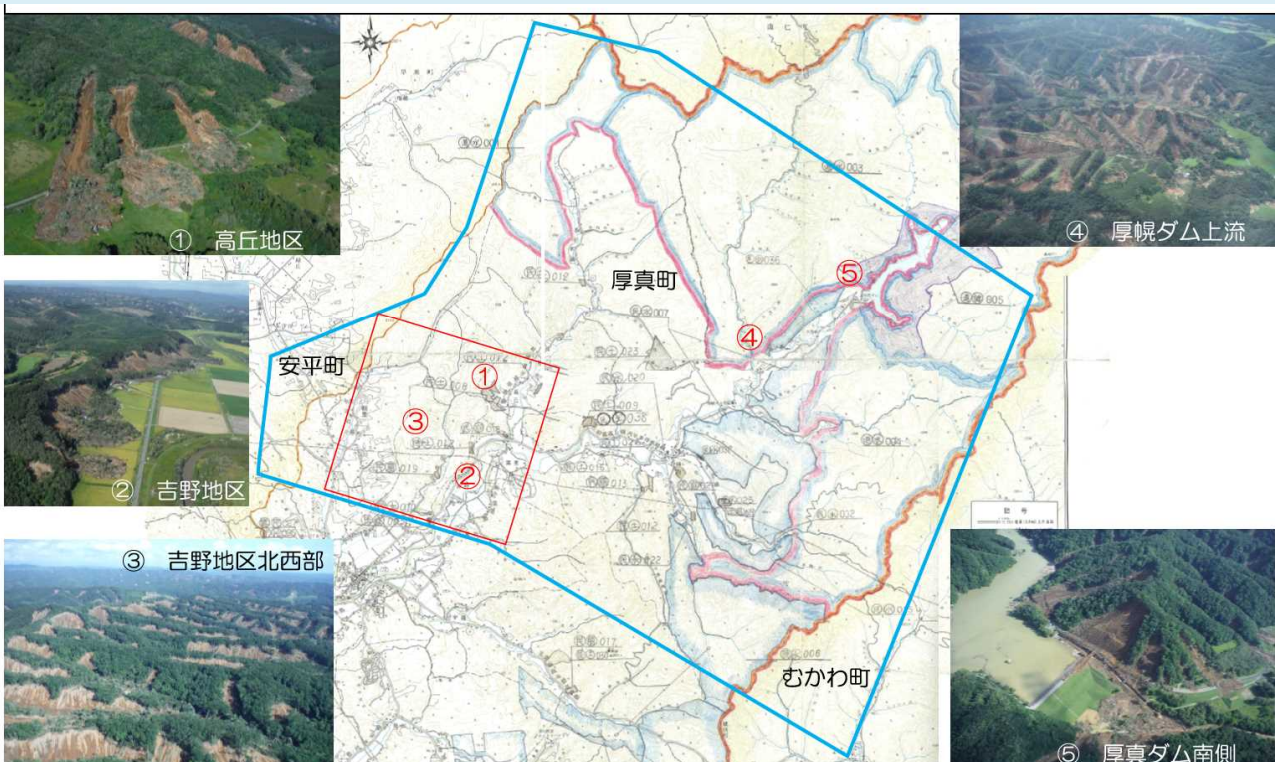
○関係機関と連携した被災森林の復旧手法等の検討

- ・試験研究機関等と連携し、森林の復旧に向けて、効果的な播種や植栽などの手法を検討
- ・被災地域における木材の安定供給・確保について検討

◇被害状況の把握

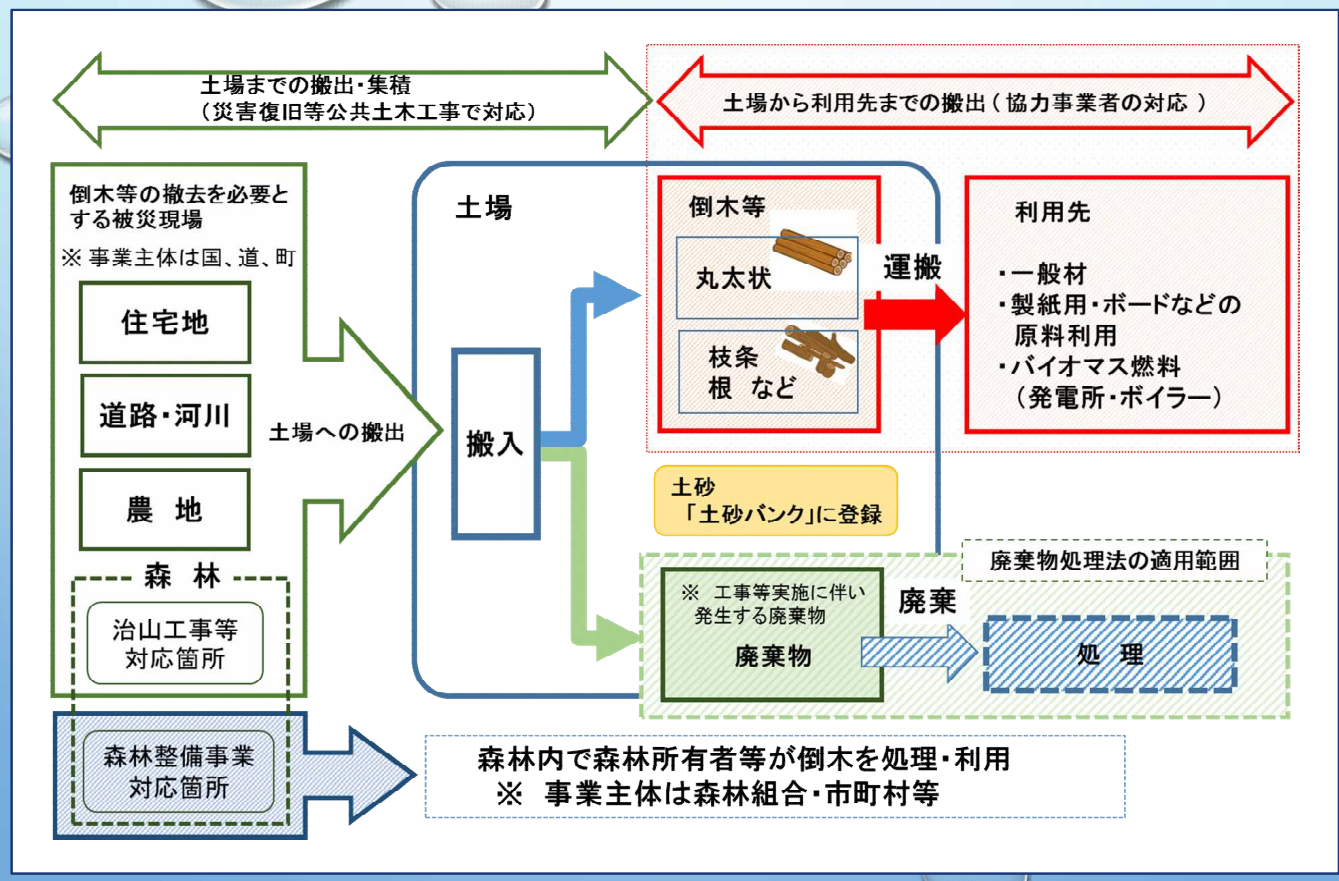
平成30年9月6日、胆振地方中東部において最大震度7の地震が発生。

北海道森林管理局と道水産林務部の合同でヘリコプターによる被害状況を調査し、厚真町北部を中心に13kmの範囲で多数の山腹崩壊が発生しており、特に吉野地区を中心とした5km四方の範囲に被害が集中していることを確認。



◇被害木の搬出・有効利用に係る体制の構築について

【 全体フロー図 】



◇倒木等の撤去と有効利用



◇北海道開発局事業実施箇所 搬出作業



◇北海道開発局事業実施箇所 搬出作業



◇北海道開発局事業実施箇所 搬出作業



◇北海道開発局事業実施箇所 搬出作業



◇北海道開発局事業実施箇所 搬出作業



◇北海道開発局事業実施箇所 搬出作業





◇北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所事業実施箇所 搬出作業

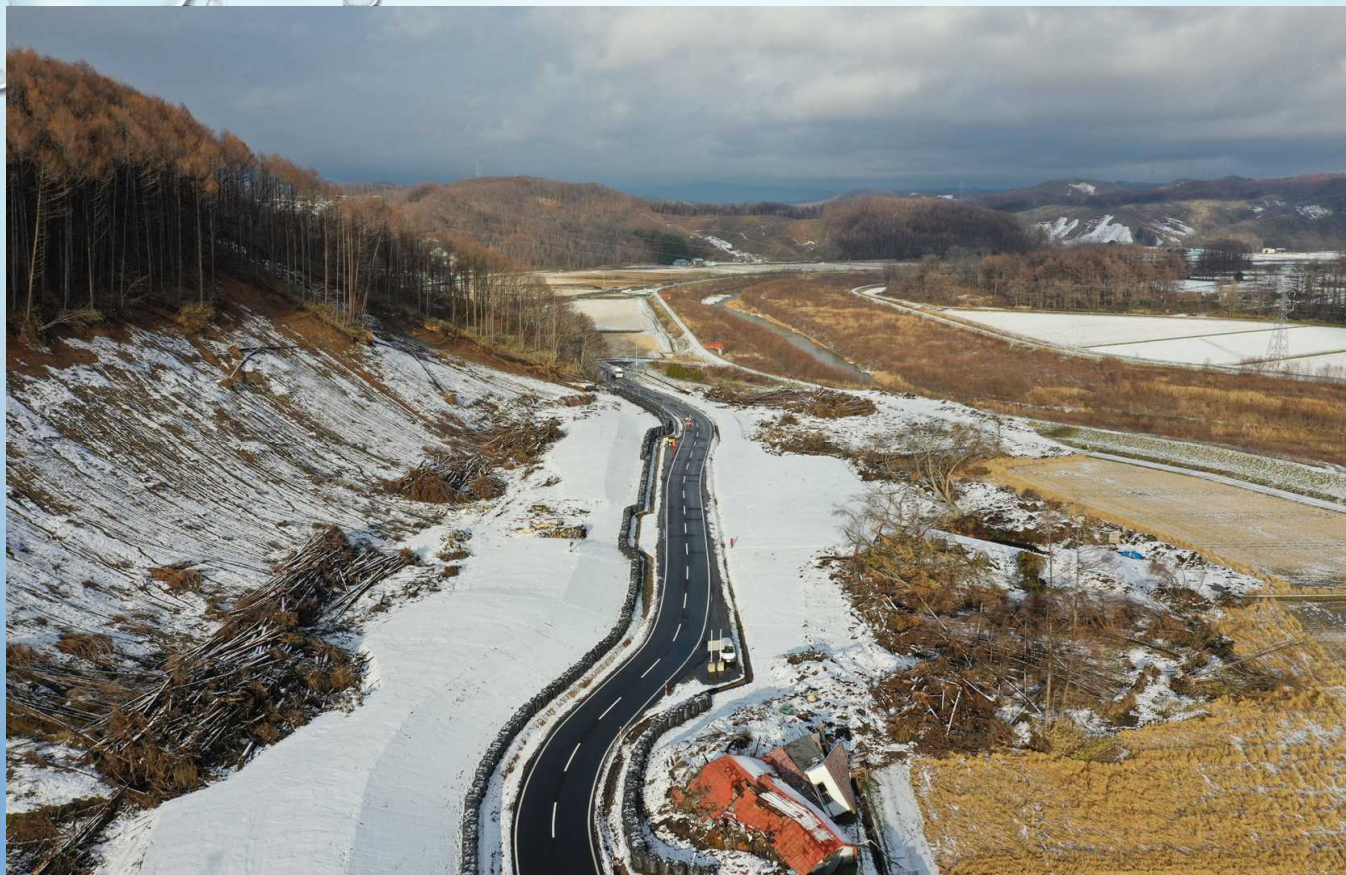


◇北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所事業実施箇所 搬出作業





◇上幌内早来停車場線 崩土除去対応（対応後）



ドローンにより上空から撮影（ 11月12日撮影 ）

◇厚真川 河道埋塞土除去対応箇所



幌内橋から上流を望む（ 9月8日撮影 ）



幌内橋から上流を望む（ 9月15日撮影 ）

ご静聴ありがとうございました